

## ◆第 591 回日本動物学会北海道支部講演会◆

### マウス有毛皮膚の触感覚神経の特性と Piezo2 チャネルの役割

日 時： 2022 年 9 月 15 日（木） 17:00～18:30

会 場： 理学部 5 号館（高層棟） 8 1 3 号室

講 演 者：馬場 欣哉先生 (Univ. of California, Berkeley)

講演内容： 別添参照

\*\*\*\*\*

この講演を受講すれば大学院共通授業科目「**脳科学研究の展開 IV-b:先端脳科学セミナー**（1 単位）」の指定講演会への参加として、**1 ポイント**認定します。

（脳科学の展開 IV-a の単位認定には合計 4 ポイントが必要です）

なお、講演の際に**参加証明書を配布**しますので、氏名等の必要事項、講演に対する感想やコメントを記入して、その日の**講演終了時に担当教員へ提出**してください。

#### 【場所】



## 馬場 欣哉

Univ. of California, Berkeley

### マウス有毛皮膚の触感覚神経の特性と Piezo2 チャネルの役割

すべての生物は、触感覚を様々な目的で利用している。その中でも、動物は様々な機械受容感覚器で、外界の変化を感知し行動決定に利用したり、内的な状態をモニターして、適切な姿勢や運動制御に役立てている。触覚、自己受容器などがその典型である。教科書には皮膚の触圧の感覚神経として、パチーニ小体、マイスナー小体、メルケル盤、ルフィーニ小体、が記載されていつが、これは無毛皮膚での感覚器の種類であり、マウスの有毛皮膚では毛根基部に付着する神経、神経自由末端、メルケル盤が主に触圧感覚神経として働いている。

近年、哺乳類の皮膚の機械感覚 (Piezo) や侵害感覚チャンネル (TRP) が同定され、その役割が明らかにされている。

本セミナーでは、近年報告されたマウスの有毛皮膚の感覚神経とその特性、Piezo2 チャネルの有毛皮膚感覚神経での役割について説明する。

\*本セミナーは大学院共通授業科目「脳科学研究の展開IV-b」の指定講演会です。

2022年9月15日 (木)

17:00~18:30

理学部5号館 (高層棟) 813号室

**\*体調の優れない方の入場はお断りします。参加される際は必ずマスクを着用し、入口で手のアルコール消毒を行って下さい。**

世話人：小川宏人 (内線 3525, hogawa@sci.hokudai.ac.jp)